

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 味覚のインタラクティブ・ブレインマップの作成と応用

2. 研究代表者： 櫻井 勝康（筑波大学 医学医療系 准教授）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

味覚や食行動に関連する脳内の情報処理メカニズムを明らかにしようとする挑戦的な課題である。

フェーズ 1 では、マウス実験において、味覚が変化するとき炎症関連物質や脳の内臓不快に関する部位が関与していることを確認したことは評価できる。フェーズ 2 は、味覚の変化に関与する脳領域の同定、神経細胞を中心とした神経回路網の解析を行い、さらに応用も目指す挑戦的な計画となっており期待できる。

以上